

シミュレーションソフトを活用したセミナーを開催

平成25年の春に本学に完成した高度シミュレーション実習室において、「シミュレーションソフトを活用した実習セミナー（入門編）」を11月に開催しました。

このセミナーは、シミュレーション技術を地域に普及させることにより、地域産業を活性化することを目的として3回シリーズで開講されたもので、多くの技術者が受講しました。

セミナーは、シミュレーションを導入・活用するための初級編として開催したもので、講師の株式会社メカニカルデザイン 大井秀哉氏から、解析ソフトAbaqus（アバカス）を使ってどんなことができるのかを実例を示しながら説明していただきました。シミュレーション経験がない、または経験の浅い受講者が大半でしたが、シミュレーションの基礎を学ぶことができる満足度の高いセミナーとなりました。引き続き、平成26年度以降もセミナーの開催を企画していきます。

また、本学ではこれらのシミュレーション技術を有効活用し、地域産業の活性化、ものづくり技術の高度化に貢献していくとともに、学内の教育活動に生かし、活用可能な人材育成を図っていききたいと思います。



3D造形に関する講座を開催

平成26年1月7日～2月18日の5日間に、技術者育成講座としてものづくりにおける技術開発の基礎を学ぶため、柏崎市内の事業者を対象に「ものづくり開発塾」を開催し、企業人27人が参加しました。

昨今、複雑な造形を容易に実現できる3Dプリンタが注目を集め、ものづくりプロセスに大きな変革をもたらすと言われていることから、本学が所有する「3Dプリンタ」と「3次元デジタイザ（平成25年度から導入）」を用い、3D造形をテーマとして開催しました。

講座は、3次元CADデータ作成からの3Dプリンタへの出力と、3次元デジタイザによるデータ取得からの3Dプリンタへの出力の2部構成で行われ、本学教員と技術職員が講師を務めました。3次元CADデータの作成においては、CADソフト・ソリッドワークスを用い、参加者が設計した対象物を3Dプリンタにて造形しました。また、3次元デジタイザの実習では、スキャニングの実習や参加者が持参した対象物のスキャニングを実施し、同様に3Dプリンタにて造形を行いました。また、最終日は「これからの3次元造形」をテーマに講話を行いました。

本学では、今後も企業のニーズに応じた地域の活性化につながる講座を実施していきたいと思っています。

